

新年のご挨拶



和歌山支部長 溝上 裕章

新年あけましておめでとうございます。
支部会員の先生方にはご健勝にて新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
平素は先生方には、支部の会務運営につきまして何かと深いご理解と、多大なるご支援ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
ところで、安倍晋三首相の経済政策「アベノミクス」の好影響が地域経済にも波及しつつあると言われ、我が国の景気も緩やかに回復しているようですが、和歌山においては、景気が良くなったと感じている人は少ないと思います。
今後景気回復されても、超高齢社会での社会保障財源、災害からの復興財源等を考えますと、財政的にはまだまだ非常に厳しい状況であります。
消費税法等の一部が改正され、平成26年4月1日から消費税の税率が8%に引き上げられますが充分な財源を確保するにはまだまだ「税」が必要になります。
税理士は「税」の仕事に携わっていますので適正納税を通じまして税務行政に協力してまいりますつもりです。
私達執行部は発足して半年が過ぎましたが、今まで行って来た会務を振り返りながら、これからも大事と思われる事項について先生方のご協力をお願い致します。
第1は、租税教室への講師派遣です。納税の意義を正しく理解してもらうために小学校から大学まで講師を派遣し講義を行っています。また、和歌山大学教育学部におきましては、学生とともに租税教育をテーマに研究を行っています。
第2は、税理士の資質向上を図るための研修であります。税理士は一事業年度において36時間以上受講するように努めなければならないと規定されていますので支部研修だけで達成できるようにしてまいりますつもりです。
第3は、平成25年分確定申告期地区相談であります。平成25年分の地区相談会場でのパソコン指導がありますが、来所者の自力作成が基本ですので、パソコン入力が出来る来所者は本人が入力し送信して頂くように指導の程宜しく申し上げます。
去る9月2日に実施いたしました「平成25年度危機管理模擬訓練」におきましては、多くの先生方にご協力を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。近税会の平均報告率は16%ですが、当支部では91%となり、前年度と同様に抜群の成果を挙げる事ができました。
また、国税電子申告・ダイレクト納付(e-Tax)の普及拡大並びに書面添付制度の普及・定着にご協力をお願い致します。
税理士法改正は平成26年度通常国会での実現を目指して税理士会をあげて運動しているところでありますので改正の必要性を汲んで頂きご協力の程よろしく申し上げます。
最後になりましたが、本年が先生方の益々のご健勝と事業の発展の年でありますことをご祈念申し上げます。

新年のごあいさつ



和歌山税務署長 西之坊 幸宏

新年明けましておめでとうございます。
平成26年の年頭に当たり、近畿税理士会和歌山支部の先生方に謹んで新春のお慶びを申し上げます。
先生方には、平素から税務行政全般にわたりまして、深いご理解と格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。
紙面をお借りしまして、心から厚くお礼申し上げます。
ところで、近年の税務行政をとりまく環境は、企業活動や経済取引をめぐる高度化・複雑化・グローバル化など大きく変化しております。
これに加えて、本年1月から個人事業者を対象に記帳・帳簿等の保存義務等の拡大、また4月には消費税率の引き上げが実施されるなど、国民の皆様の税に対する関心はますます高まることが予想されます。
このような中、私どもの任務である「適正・公平な課税と徴収の実現」を図るため、国民の皆様に納税義務を理解していただけるよう、広報活動や租税教育などに取り組んでいるところであります。
特に、消費税法の改正につきましては、窓口に「改正消費税相談コーナー」を設置し、国民の皆様からの質問・相談等に対応しております。
またe-Taxの普及拡大につきましては、先生方のご尽力のお陰をもちまして利用件数も着実に増加しておりますが、今後ますますe-Taxの利用拡大に向けて努めてまいります所存でありますので、これまで以上のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
さらに、ダイレクト納付につきましても、併せて関与先への利用勧奨にお力添えを賜りますよう重ねてお願い申し上げます。
さて、年が明けて平成25年分の確定申告期を迎えることとなります。本年も昨年同様、e-Taxの普及拡大に向けた申告相談体制により、従来以上にパソコンの習熟度に応じた自力作成の推進を図り、その利便性を体感していただくことで、今後自宅等からのICTを利用した申告等が図れるよう全職員が力を合わせて確定申告期を乗り切ってまいりたいと考えております。
先生方におかれましては、確定申告期間中はもとより税務全般に関し、税の専門家として、また税務行政の良き理解者として、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますよう深くお願い申し上げます。
結びに当たりまして、近畿税理士会和歌山支部のますますのご発展と、会員の先生方はもとよりご家族皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。
本年もどうかよろしくお願い申し上げます。

支部旅行「京都方面」に参加して

瀬藤 啓司



10月21日に参加者37名で京都方面に支部旅行に行ってまいりました。

旅の行程は、和歌山から2時間ぐらい掛けてまず2012年に新しく建設された梅の小路にある京都水族館へと、水族館を目の前にして、ふっと？「海のない京都になぜ水族館が？」「どんなコンセプトで建設されたの？」と疑問を抱えながら興味津々で見学に行きました。まず入り口に入っただけで、京の川ゾーン、由良川と鴨川をモチーフにして、その川に生息しているイワナやヤマメなどを鑑賞することができました。そこで、さっきの疑問がようやく解決しました。京都は三方山に囲まれた盆地、山々がもたらす川の恵みがあり、市内には鴨川、桂川、宇治川をはじめ10もの一級河川が流れ、もちろんそこには川の魚が豊富に生息していることから、京都の川の生態系を全面に押し出した水族館であることが分かりました。

また、海の魚たちも鑑賞し、水族館のメインであるイルカショーを見学することに、さすがに地元和歌山のアドベンチャーワールドと比べると？と思いましたが、ガイドさんの話では、開園当初に比べるとイルカたちのパフォーマンスは向上しているとのこと、平日なのに見学者も多く地元のちびっこたちには大人気で終了時には拍手喝采でした。

ちょうどイルカショーが終わるとお昼近くに、ここから京都市内の一流料亭へ移動し、窓からは鴨川を眺めながら風流にミニ会席をワインや日本酒など飲みながら堪能させていただきました。

ちょっとほろ酔い気分になりながら、次の観光地400年の歴史のある京の台所（錦市場）へ向かいました。市場に行ってみると体を横にしなげないで歩けないぐらいの賑わいにはびっくりさせられました。390メートルの商店街にはさまざまな店舗が連なり、一般によく見て聞く商店街の空き店舗などはなく観光客や地元の方々が活気付けていました。錦市場を後にしながら、最後に知恩院の周辺を散策し、ガイドさんには観光案内に載っていないような石原裕次郎がその当時常宿にしていたという場所に連れて行ってもらいました。

あっという間に集合時間となり、ただ残念なのは秋の京都というと紅葉、時期的には早かったのか見ることができず、その楽しみを次に残しながら帰路につくことになりましたが、記憶に残る楽しい旅の1ページができました。



今年の年男

84才 年男の回想

小谷 匡

時は昭和50年1月7日 和歌山市堀止の事務所で私は税理士開業の初日の朝を晴々しい気持ちで迎えました。年は44才、女子事務員1名と妻との3人で実質零からのスタートでした。それからあっという間の39年が過ぎました。

私は昭和26年21才学校卒業と同時に大阪の商事会社に就職し以後24年間9時から5時迄の型通りの仕事、アフターファイブは気おけない上司や同僚達との飲み会や麻雀に明け暮れるというサラリーマン生活を続けてきました。特に麻雀は当時はサラリーマン最大の楽しみで私達も5時早々から雀荘へ入り時間がくれば近くの小料理屋へ席を移しそこで当然徹夜翌朝4人揃って出勤するという程熱中したものです。それでもそのマージャン組も私の退職後、50才台で取締役や社長へと立派に大成されました。なつかしい思い出です。

そんな酒や麻雀人生の中でも自分なりに自分の仕事である経理税務についてより深い専門知識を身に付けたいという思いが強くなり、昭和40年35才から税理士試験に挑戦し昭和45年40才で合格出来ました。その間猛烈に勉強した記憶は今も鮮明に残っております。

その後考えた末、税理士開業を決意し試験合格4年後の昭和49年末日をもって24年間お世話になった会社を円満退職致しました。

さて、あとは冒頭で述べたように昭和50年1月、零からのスタートの後は諸先生方と同様に周囲の方々のご支援ご協力を頂きながらコツコツと努力を重ね租税正義の実現という理念のもとに顧問先を増やすという税理士業務一筋の人生を昭和のバブルや平成のデフレを体験しながら39年間過し現在に至っております。84才午年を迎え、今後は体力の許す範囲で今しばらくは税理士業務を続けたいと思っておりますので今後共よろしくお願い致します。

最後になりましたが複雑多忙な会務運営にご

尽力なさっている役員先生方に心からの敬意を表したいと思います。

健康について

藤原 剛治

新年おめでとうございます。

文章を書くのが苦手ですが、先日、原稿の依頼を受け戸惑いながら、生まれて初めて寄稿させて頂きます。

健康の三原則は、よく食べ、よく動き、よく眠るといいますが、どれひとつ欠けても健康は維持できません。私の健康の秘訣(私の考え)は、

- ① 毎朝早起し喫茶店へ行ってモーニング(野菜たっぷり)を食べる事
 - ② ゴルフもスコアは、100を切った事がないのですが、運動気分毎月何回か行く事
- 先日も、若い方から見るとすこぶる元気な老人に思えるのか『先生、化け物と違うか』と失礼な事を言われました。

私は、今年七回目の午年を迎えますが、痴呆防止のために仕事を、現役で続けていこうと思っています。

結びに、各先生方の健康と益々のご活躍を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



今年の年男

馬にまつわる話

和田 公平

馬は大変に美しい動物です。

昭和の初め頃までは身近な存在で町中で良く見掛けました。今でも古い民家では門長屋があって片方に馬を飼い片方に使用人と暮らしていた名残りがあります。

岩手県盛岡ではチャグチャグ馬祭りの為だけに五十数頭の馬が飼われているそうです。

宮崎県の都井岬には野生の馬が自生しています。

乗馬は男のステータスの一つであり、戦国時代織田信長は少年の頃裸馬に乗って山野を駆けまわり、桶狭間の戦いの勝利に馬が貢献したのが大きいと思います。

又吉田茂元首相が外務省時代に馬に乗って出勤して皆を驚かせた事がありました。

私の小学校時代には元旦の式の帰りに坂上町の湯川邸の前で湯川公二氏が馬に乗ってお宮参りに出てくるのを見るのが楽しみでした。

昔軍隊帰りの先輩に初年兵の頃馬の世話をしていた古兵に馬に水を飲ませてこいと云われて手綱を一生懸命に引っ張ってもびくとも動かなかったがその古兵がひょいと馬に跨ると三四回馬場を駆けまわり水呑み場につれていくとおいしそうに水を呑んだ話を聞かされました。

馬の胃には草の消化を助ける為にこぶし大の結石が数個あるそうです。

将棋の棋士に馬使いの名人が居って大変に強かったようです。将棋の対局場には床の間に「黒」サカウマの飾りが置かれています。

馬にはこれからも永く美しい走りを見せてほしいと願ってやみません。



同窓会

稲田 稔彦

今年72才、余命はまだ20~30年残されているが、これからは良いことは余り起こらないと思っています。先輩諸先生方が、元気で仕事に励んでいるのを見ると自分も励まなければとの思いを強くします。まだ、引退をする気はありません。

働ける間は働かねばならぬと考えていますし、その場があることも幸せです。私の人生は幸せであったと思います。父が長生きしてくれました。私の世代では父親が戦死をした人を見受けます。もう戦争に行かずに済んで良かったですねと数年前に言われ、この人は私より10才も若いのに気にかけていたのだと思いました。

私の最初の記憶は、夜に少し小高い所から遠くの大きい火災を大勢で見っていたことです。それから有田郡の清水町に移ったことから、あれは昭和20年頃の大阪の空襲を見ていたのだと思います。清水町は寒く霜柱が立つし、春には河原に柔らかな穂を出すネコヤナギが芽吹くのが思い出されます。昼間、前で遊んでいた家が夜に火災にあったり、友が川で流されたりと色々ありました。小学3年の10月まで居て、和歌山市に移りました。

清水町の小学校の同窓会が3年に一度開かれます。小・中学校の同窓会ですから半分は当初から知りません。最初に、親戚の者から強い勧誘を受け参加したときは、知っている人はその人だけで、転校生の気分でした。先生を同窓生と間違ったこともあります。40数年会ったこともないので、名前を聞いただけでは記憶がよみがえりませんし、共通の話題も乏しいです。色々話をする内に相手の方が私以上に覚えており少しづつ記憶がよみがえります。昭和28年の水害では、学校が流され教室を求め日々転々としたそうです。

会いたい人や、可愛くて美人になっただろうと思う人は、もう亡くなっています。

今は物事は増やす時ではなく減らしていく時

今年の年男

と考え生活をしていますし、家内は行かなくても良いのと言いますが、何故か出席しています。皆と過ごした期間は短かったですが、思い出すのは清水町での生活であり、山や川での遊びです。穏やかに過ごしたこの時代がいつも思い出されます。

還暦を迎えて

成川 茂

子共の頃、六十歳って腰が曲がってヨレヨレのお爺さんの印象でした。

それが今年嫌でも還暦を迎えてしまうのかと思い、複雑な気持ちになっています。

最近、若い頃よく聞いたフォークソングが懐かしく、YouTubeを見えています。

その中でも高校の時影響を受けたのが吉田拓郎で、当時レコードを買う小遣いも無く深夜ラジオで聞いていました。その頃テレビ出演しないと公言し、反戦歌や政治的なフォークが多い時代に新鮮な歌に出会った気がしました。特に「イメージの詩」は、衝撃を受けて、就職してから、上司に叱られても心の中では今に見ていると思って我慢した記憶があります。

「古い船には新しい水夫が乗り込んで行くだろう 古い船を今動かせるのは古い水夫じゃないだろう なぜなら古い船も新しい船のように新しい海へ出る 古い水夫は知っているのさ 新しい海の恐さを」この歌詞が特に好きで、今で言うツッパった考えで年寄りが何かうるさい事言ってるけど、勢いで何とかかなと思っていました。

でも今思うと、馬鹿な事をやってたと反省する事が多く、今年還暦の同窓会をする計画で、打合せを兼ねて三回程飲み会をしました。同窓会の話より当時の無茶な事をしてきた行いに花が咲き結局日程だけ決めただけです。年明けに再度集合してそろそろ場所を決めなくては間に合わない状況です。

ツッパっていた新しい水夫がもう古い水夫になりボチボチ大人しくするようにしなくてはと思い、若手の先生にはどんどん新しい海に向かって出て行って欲しいと思う還暦を迎える元旦です。

～午(うま)年生まれって?～

西川 明伸

『干支の丙午(ひのえうま)年の生まれの女性は気性が激しく夫の命を縮めるという迷信は、丙午の年には火災が多いという江戸時代の初期の迷信が、八百屋お七が1666年の丙午生まれだとされたことから女性の結婚に関する迷信に変化して広まって行ったとされる。この迷信は昭和になってすら強く1966年の出生率は前年に比べて25%も下がる影響があった』(by Wikipedia)。

という時代背景の下、私自身は小学校・中学校・高校では、各クラスが他の学年より2つほど少ないこともあり、また生来ののんびりした性格も重なってのほほんと生きてきたような気がする。

で、この原稿を書くにあたって、午(うま)年生まれの名著人は誰がいるのかなと思いついてみた。ざっと並べると織田信長(1534年)・松下幸之介(1894年)・本田宗一郎(1906年)・田中角栄(1918年)などなど錚々たる面々である。また、安倍総理大臣(1954年)も午生まれであるとのこと。

巷間言われている午(うま)年生まれ性格は、長所としては幾度失敗してもへこたれない雑草のような強靱さがあり、まさに転んだ馬がすぐに跳ね起きて駆け出すような七転び八起き的な性格。短所としては、情緒性に欠け他人の些細な言動が敏感に気になるタイプであり、とかく人の顔色をうかがい、それに直ちに厳しい姿勢で対応したり相手を見下す傾向がある。

とまあ、非常に極端な人間らしい。

私自身はどうかと考えてみると、最初に申し

今年の年男

上げたように基本的にはお気楽極楽の性格である。でも、勝負どころの局面ではしぶとく粘り強くなることもあるし、逆に、人の顔色をうかがうことも多々ある。(それによって、私の場合は精神的に凹むことが多いが・・・)

思い返してみると、24歳の年・36歳の年とそれなりに人生の局面を迎えて乗り越えてきたような気がする。48歳になる今年はどのような年になるのだろうと、楽しみでもあり不安でもあるが、まあ何とかかなるかな！

午年生まれの方は、12名です。

	男	女	計
昭和 5年	4		4
17年	4		4
29年	2		2
41年	1		1
53年		1	1
	11	1	12



支部行事風景



平成25年7月24日
支部研修会(アバローム紀の国)



平成25年11月5日
ビデオ研修会(税理士会館)



平成25年12月11日
第45回税務研究会(ダイワロイネット和歌山)



平成25年12月11日
年末意見交換会(ダイワロイネット和歌山)



新入会員等紹介 (敬称略)

入 会



カノウ シュウジ
加納 修二
平成25年8月29日
和歌山市西庄1067番地の8



ハシモト ヒロフミ
橋本 博文
平成25年8月29日
和歌山市和歌浦東4丁目2番31号
グランメール203号室



ミズノ トモユキ
水野 智之
平成25年8月29日
和歌山市太田4丁目10番3
齋藤恒明税理士事務所

入 転



サカモト トモコ
坂本 知子
平成25年9月7日 (富田林より)
和歌山市西44番地の8



キムラ ヨシタカ
木村 吉孝
平成25年10月29日 (南より)
和歌山市毛革屋丁17番地
税理士法人木村税務事務所



ウラモト マサミ
浦元 正躬
平成25年11月8日 (粉河より)
和歌山市友田町4-25
田中ビル505号



山本 能久(業務廃止) 平成25年8月7日
田中 等(業務廃止) 平成25年9月5日



上野山 雄己(中京へ)
平成25年8月21日

会 員 数

平成25年11月15日現在 233名(社)

編 集 後 記

新年あけましておめでとうございます。

第37号支部会報「五十五万石」を皆様のご協力により無事に発行することができました。お忙しい中ご寄稿いただいた方々には大変感謝しております。

昨年は台風の多い年でした。台風18号による串本町での竜巻被害や台風26号による伊豆大島での土砂災害には心が痛みます。

一方、富士山の世界遺産登録や2020年の東京オリンピックの開催決定など明るいニュースもありました。

経済面を見ますとこの20年にわたって不景気が続いております。安倍政権はアベノミクス(「金融緩和政策」「財政出動」「成長戦略」)を標榜しております。今年は第3の矢である「成長戦略」に期待を寄せておられる方も多いのではないのでしょうか。

もうすぐ確定申告期を迎えますが、風邪など引かぬように十分健康にご留意ください。

今年が会員皆様にとって良い年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

広報委員会 橋本、松本、杉本

